

① 職場の概要（仕事の内容）

- 農林水産省は、生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来の子どもたちに継承していくことを使命とし、食料の安定供給、農林水産業や食品産業の発展、農山漁村の活性化、森林水産政策の推進など、幅広い政策を担っている。

② 倫理保持に関連する取組の概要

（１）毎年７月に「農林水産省職員倫理啓発週間」の実施

【取組内容】

- ・外部講師に依頼し、本省室長級以上及び地方機関の幹部職員を対象に、倫理啓発講演会を実施。
- ・全機関において、各職場の実情に応じた職場研修を実施。
- ・倫理に関する制度や規定、「倫理規程ベスト盤12選（倫理審査会事務局作成）」等が農林水産省倫理GUIDE（職員用掲示板）に掲載されている旨の周知。
- ・倫理に関するチェックシートを独自に作問し、全職員を対象に倫理規程等の理解度テストを実施。

（２）倫理チェックシートの作成・活用

【取組内容】

- ・農林水産省職員倫理啓発週間及び国家公務員倫理月間において、全職員に対し、独自で作成した倫理チェックシートにより倫理規程等の理解度テストを実施。
- ・及第点を設定し、達しない職員はレポートを提出。
- ・各問の正答率を集計し、次回以降の作問の参考としている。

（３）農林水産省倫理GUIDE（職員用掲示板）の設置

【取組内容】

- ・職員用掲示板内に、倫理専用サイトを作成し、各種報告書等の提出ルール、主な関係通知、研修等資料をまとめて掲載。
- ・職員が各種資料を常時閲覧可能な状態としている。

③ ②に記載した倫理保持に関連する取組の目的及び効果

【目的】

- (1) 職員への倫理意識の効果的な浸透を図るため。
- (2) ・倫理規程等の理解度を確保するとともに、正しい理解を促すため。
 - ・問い形式にし、職員に対して倫理規程について考えさせることで、より深い理解を促すため。
 - ・実際に起こり得る状況に即した問題とすることで、設問に類似した状況において正しい判断ができるように啓発を行うため。
 - ・及第点に達しない場合でも、レポート作成等を通じて認識の誤りの原因等を理解することで、正しい知識の習得を図るため。
- (3) 倫理に関する資料を集約化することで、職員の効率的な情報収集を可能とするため。

④ 職場のPR内容

- 農林水産省は若手の成長を応援しており、様々な研修を用意している。例えば、農林水産業の実情を経験し、ミクロな視点を身につけるため、本省に在籍する入省2年目の職員を全国各地の農家・漁家のもとに約1か月間派遣する「農村研修」がある。加えて、国際関係の業務も多いため、英語や中国語等の語学研修や人事院の長期在外研究員制度等を利用した海外留学にも積極的に送り出している。
- また、産前産後休暇や育児休業に加え、フレックスタイム制やテレワークの推進など、個々の事情に合わせて働き方も柔軟な選択が可能である。